

【高等部】シンガポール短期交換留学 第6日目（3月30日）

本日は滞在6日目、初の休日です。

前日の送別会で、研修が終わりに差し掛かっていることを感じるとともに、バディーとの絆を強く意識した生徒たち。

そんな彼らの成長を強く感じたので、教員側で話し合い、今回は少し自由度を上げ、最終日はバディーとの自由行動の時間にすることにしました。

もちろん、英語を使う機会が増えるだけでなく、バディーと英語で交渉したり、現地の地理を調べたりと、求められるものは格段に上がりますが、今年度の彼らなら、達成できると感じたからです。

午前は、昨年11月の本校受け入れの際に来校したバディー(以下、前バディー)との交流です。

前バディーたちは、前日まで、進学にとっても大切なテストを受けていました。しかし、疲れた様子も見せず、時間を作ってくれました。

みんなでボーリングに行ったり、ショッピングに出かけたりして、再会を喜びました。



午後は、前バディーと別れ、今回の訪問を共に過ごしたバディー達と一緒に、セントーサ島に行きました。

セントーサ島にある大きなマーライオンをみにいたり、Universal Studio Singaporeの前で写真を撮ったり、ビーチで一緒に遊んだり、楽しい時間を過ごしました。

日本ではまだまだ寒さが残る3月に、真夏の遊び方ができたことは、不思議な体験だったのではないのでしょうか。

本日が最終日だということで、各バディーから別れの言葉が伝えられました。

1週間という短い間でしたが、バディーたちは、本当にいろいろな面で生徒たちをサポートしてくれました。その両者の間に、素晴らしい友情が芽生えたことをとても嬉しく思います。

また、生徒たちからしても、日本語が通じない、異なる背景を持った人と関係を作るのは、日本ではあまり経験しないことだったと思います。

自分の英語力への不安や、異文化に対する驚きを抱えながら、それでも相手と良い関係を築くことができたことは、これからの自信にしていってほしいと思います。

